

地域とともに咲かせよう

地域の自然・文化・歴史を介したネットワークづくり【柳井市 柳井中学校区】

地域の概要

白壁と金魚ちょうちんの町「柳井」の中心市街地に位置する柳井中学校区は、大規模校から小規模校まで6小学校区、柳井・伊陸・日積・平郡の四つの公民館・行政区からなる広範囲の地域にわたっています。このように、市街地、山間部、海沿い、或いは島で育つなど、大きく異なった環境の中で小学校時代を過ごした子どもたちが、一つの中学校でともに学んでいます。本校区では、多彩で個性を生かした教育活動、地域に根ざした教育を進めています。

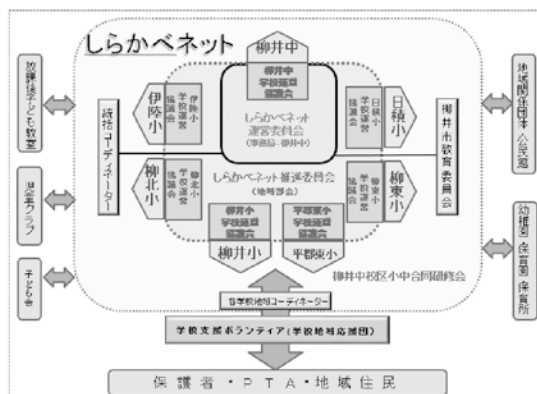
人口	20,348人	
世帯数	9,726世帯	
対象校 及び 児童生徒数	柳井中学校	585人
	柳井小学校	525人
	柳北小学校	83人
	柳東小学校	249人
	日積小学校	42人
	伊陸小学校	56人
	平郡東小学校	5人

組織の内容

平成24年度より「しらかベネット推進委員会」が推進母体となり、活動を展開しています。

昨年度発足した校区内小中合同研修会に、今年度から学校運営協議会委員も参加し、協議しました。

学校運営協議会と学校支援ボランティアの更なる充実をめざして、地域部会の開催と学校地域応援団の構築に取り組んでいます。



特色・重点的な取組

しらかベネットの大きなねらいは、「各学校における地域とのネットワークの拡大」です。毎年、活動テーマを設定し、各学校はそれに基づいた特色ある教育活動の工夫に取り組んでいます。また、すべての学校が柳井まつりに参加し、地域を盛り上げています。その他、地域ぐるみで学校を支援するための様々な活動や、小中連携及び学校運営協議会の充実を図るための研修を重ねています。

1 本年度の活動テーマ「地域の自然・文化・歴史」に関わる活動の推進

地域の自然・文化・歴史に関わる活動を、各学校で実践し、カリキュラムを作り上げました。

2 柳井まつりに関する「しらかベネット子ども広場」の開催

子ども広場支援員を募集し、25名の地域の方の協力によって運営が円滑に行われました。

3 しらかベネット放課後子ども塾の実施

しらかベネット学習支援員が、水曜日の放課後、小学校1年生及び5年生を対象に学習会を開いています。

4 柳井中校区合同研修会の実施

学校運営協議会委員も参加し、9年間の学びの充実について様々な視点から研修を行いました。

5 しらかベネット地域部会の開催

中学校の授業参観を実施し、保護者及び学校運営協議会委員でめざす子ども像を協議しました。

主な活動の紹介

■活動事例 1 めざす子ども像の決定

柳井中学校の学級懇談会での熟議、地域部会での熟議、運営委員会での協議を経て、めざす子ども像は推進委員会において、保護者からの意見を反映した「地域とつながり、思いやりのある子ども」に決定しました。

■活動事例 2 柳井中学校区小中合同研修会の充実

柳井中学校区全小中教職員と学校運営協議会委員が参加し、課題の共有及び解決策の協議を行いました。

■活動事例 3 柳井まつり・子ども広場への積極的な参画

ちびっ子屋台の展開や、吹奏楽演奏、柳井中学校美術館の紹介など、各校の教育活動の特色を生かした参画をするとともに、ジュニア応援団が司会進行を担当しました。



柳井まつり・子ども広場

■活動事例 4 地域の自然・文化・歴史に関わる活動の実践

*柳東小学校 山口県教育会との連携事業 柳東地区探訪「ぶらりと散歩」

4年生がフジバカマに舞う蝶アサギマダラの観察を、地域の方々と一緒に行いました。

*柳井小学校 しらかべウォークラリー

全校児童が縦割り班を単位に、白壁通りのチェックポイントを巡りながら、柳井の歴史や文化への理解を深めるクイズ問題に挑み、地域の方々とふれあいました。

*柳北小学校 柳北まち探検 「郷土に伝わる ばさら窯と美人地蔵」をたずねて

2年生と保護者がまちを探索し、ばさら窯では焼き物の作り方を学習しました。



「アサギマダラの観察」



「しらかべウォークラリー」



「柳北まち探検」

成果と課題

しらかべネットのめざす子ども像の設定、地域部会や校区合同研修会への学校運営協議会委員の参加、学校地域応援団の構築など、7校の学校運営協議会の連帯感が生まれ、それぞれの学校が特色を生かした教育活動を展開しました。また、中学校を中心として、小中連携の必要性を強く感じ、教職員には「学校を越えた^{きずな}絆」が広がってきています。

これからの課題は、各学校区において地域のネットワークを拡大させるとともに、学校が「地域の活性化への拠点」になるように教育活動を仕組んでいくことです。

今後の取組

「しらかべネット」から「柳井しらかべ学園」への構想です。これは、全教職員が柳井中学校を中心に7校が一つの学校という意識をもつことです。15年間の子どもの育ちや学びを共有していくために、幼保小中の連携、地域の中での教育活動の充実、学校運営協議会の円滑な運営など、計画的・組織的に地域ぐるみの取組の充実、スクール・コミュニティの推進を図っていきます。